

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



人を見抜く

渋谷 昌三 著

相手の話し方やクセ、外見などから素早くや嘘本音、本性を見抜けるコツを紹介しています。他に男を見抜く、女を見抜くという本もあります。

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



ネコ立ちあがる

岩合 光昭 著

動物写真家・岩合光昭氏の猫写真集です。モデル猫ではない、普通の猫たちの日常が見えます。鹿児島島の猫たちも掲載されています。

新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中からおすすめのものをピックアップ。バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

Pick Up New publication

長島 文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

逢ふたびに孫の片言冬ぬくし
蹴振ればいつもの笹子来て囃す
噴き上がる火山灰真つ白に師走くる
笹鳴きや嬰の眠りし隣部屋
枯芙蓉本気の雨となりけり
孫の手に重ねて示す冬の星
結末を聞きたくもあり師走かな

山寄加代子
淵脇 護
大堂 早苗
関 佳代美
迫口 君代
中橋 藤七
筑前 初市

長島短歌会

静寂の夜更けに母は幾度も我が名呼びをりその声
太し
荒磯の岩場に鷗寄添ひて霰まじりの寒風に耐へ
写真一枚貼られし箱が遺骨とぞ抱き帰りし父そは
の父
茎のびて皇帝ダリアは高だかと紫淡く空に咲きぬ
我が庭に溢れ咲きたる菊の花眩きまでに西日受け
をり
幸せの裏の寂しさつの日は孫に触れば心みな
ぎる
秋蒔きの野菜は日日に育ちをり身にしむやうな緑
の旨さ
山深き観音滝はこだまして流れに祈る亡夫の冥福
暮れ早き庭に佇み手をあわす行人岳の灯りぬくみ
氏祀り大石ひとつの祠にて祝詞清しき霜月なかば

中山タマエ
浜田美代子
浜畑 松枝
林 ヒロ
本田 幸子
松元 睦子
町田キクエ
吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江

老醜は哀しみなれど長生きの代償なりとおのれ慰む
岩下 房代
裸木にひとつ残れる柿の実の薄き西日に淡くかがよふ
榎平 頼子
日照雨降る峽田を歩みいつよりか雉子の鳴くを長く聞かざり
米尾 和子
残りたる柚子の実ぼんと浮かべたり湯浴みに憩ふ匂ひ芳し
坂之下典子

創生短歌会

何もかも呉れてやるぞと冬木木は裸木となり風に吹かるる
竹之内重信
竹山に竹挽鋸を見失い竹の落葉を踏み探せり
野村 益信
特売の札つけられし品の良き湯吞茶碗を祭りにて買う
宮元 司
山並に大きなプロペラ廻りおり空の濁りを混ざる如くに
石原百合子
親しかりしランドゴルフの友逝きてランドゴルフに二ヶ月行かず
山下 学
何となく今日は淋しくて花を買い墓なる妻に逢いに行くなり
村上 義彦
夕暮れに降り来る雨のいとしさよまだ生きている頬に冷たし
大塚 洋子

一般作品

俳句
去年今年群ないことを宗として
明け初むる厨に炊ぐ寒の入り
笹元 政美
桐野 眞実
短歌
元旦に新茶美味し嬉しかり香り清しく今年も活きん
鷺出 成人
ねこじやらし摘み摘みはしゃぐ走る子ら尾を振り振って後追う子犬
中飯屋辰子
九十余歳歌詠む姫真似たくておそまきながら学び始める
藤川ひみ子